

2年	絵画	題材名	伝えたいワタシ ～明暗と技法を工夫して思いを伝えよう～	17時間
----	----	-----	--------------------------------	------

1 指導目標【知】知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に学習に取り組む態度】

【知】	主題を表すために「明暗」「技法」を活用することの効果を理解し、記述している。 主題を表すために「明暗」「技法」を活用して、用具をいかして制作している。
【思】	主題を基に、「明暗」「技法」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「明暗」「技法」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。
【態】	主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。 主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。

2 題材を通して意識させたい基礎的な知識・技能「工夫ポイント」

「明暗」「技法」

3 題材の指導計画（17時間完了）

場	時	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ場	①	題材をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本題材が中学2年の今の自分の内面と向き合い、その中にある様々な思いの中から、周りのみんなに理解して欲しい、伝えたい思いを主題として表現していくものであることを伝える。 ○ 明暗の付け方の違う参考作品をいくつか鑑賞させ、それぞれの明暗の違いから、受ける印象が変わることに気付かせる。 ○ 濃淡やタッチに変化を付けて明暗に差をつけて表現する練習をさせ、基本的な明暗の付け方を学ばせる。 ○ スパッタリング、吹き流し、ドリッピング、にじみなどのモダンテクニックを用いて、喜怒哀楽の感情を表現させる。 ○ 友達の様々な感情表現を鑑賞させることで、技法で表される形や色が、思いや感情を表す上でどのように効果的に用いられるかに気付かせ、技法の効果学ばせる。 ○ 周りから見た自分と、自分が思う自分についての違いに気付かせ、その上で「みんなに理解してほしい、伝えたい本当の自分」について考えさせ、生み出させた主題をワークシートに記述させる。
	②	「明暗」を学ぶ	
	③	「技法」を学ぶ	
	④	主題を生み出す	
	⑤		
追求する場	⑥	発想する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生み出した主題を基に、「明暗」「技法」を活用させながら、複数のアイデアスケッチを発想させる。 ○ 発想の途中で参考作品などを示し、「明暗」「技法」の活用の仕方に気付かせた上で、活用の仕方を変えて複数のアイデアを考えることができるかを問い掛けることで、新たなアイデアスケッチを発想することができるようにさせていく（「拡M①」）。 ○ 主題を表すために「明暗」「技法」がどのように活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見直しをもたせていく（「拡M①」）。 ○ 発想されたアイデアスケッチを基に、クラス全体のアイデアスケッチを鑑賞させる、中間鑑賞会（第1回）を行う。主題が「明暗」「技法」を活用して表現されているかに着目させ、自
	⑦	【拡散的思考】	
	⑧	中間鑑賞会1 【拡散的思考】	

		分がよいと思うところをワークシートに記述する活動を行わせることで、参考になりそうなアイデアを見付けさせていく（「拡M②」）。
	⑨ 中間鑑賞会 2 【拡散的思考】	○ 発想されたアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる、中間鑑賞会（第2回）を行う。主題が「明暗」「技法」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、付箋紙に記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。
	構想する 【収束的思考】	○ 伝えられた意見を参考にさせながら、再度自分のアイデアスケッチの見直しをさせ、自分自身の思いと他者の意見を基に、最終的なアイデアを決定させる。 ○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの最終版の構想を練ることができるようにさせていく（「収M①」）。 ○ 決定したアイデアスケッチに、主題を表すためにどのように「明暗」「技法」が活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「収M②」）。
	⑩ 本制作をする	○ 主題を表すために用具をいかして作品を制作させる。
	⑪ 【収束的思考】	○ 表現を振り返りながら見通しをもちやすくするために、小グループの隊形で制作をさせ、いつでも互いの作品の鑑賞や、意見交換をできるようにさせる。
	⑫	○ 本制作の作品に、主題を表すために「明暗」「技法」をどのように活用しているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら見通しをもたせていく（「収M②」）。
	⑬	○ 制作途中に友達の作品の鑑賞を促し、主題を表すための「明暗」「技法」の活用の仕方や、用具のいかし方などを見付けさせ、それを基に表現を振り返らせながら見通しをもって表現させていく（「収M②」）。
	⑭	
	⑮	
ふりかえる場	⑯ 最終鑑賞会を行う	○ 本制作をして完成した作品について発表させ、自他の作品を鑑賞させる最終鑑賞会を行い、主題を表すために「明暗」「技法」を活用していくことがどのように効果的だったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。
	⑰	○ 題材全体を振り返らせ、主題を追求していくにあたって、アイデアスケッチを複数発想したり、中間鑑賞会での意見交換を参考に構想を練ったり、主題を表すために「明暗」「技法」がどのように活用されているかを振り返りながら本制作をしたことが、主題を実現することにつながったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。

4 評価基準表

時 場	主な学習の活動	評 価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
① ② ③ ④ ⑤ つか む 場	○ 「明暗」「技法」を学ぶ ○ 主題を生み出す	A	「明暗」「技法」の効果を理解し、具体的に記述している。	/	「明暗」「技法」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。 「明暗」「技法」を意識し、様々な作品の工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。	
		B	「明暗」「技法」の効果を理解し、記述している。		「明暗」「技法」を意識し、試行錯誤を繰り返して表そうとしている。 「明暗」「技法」を意識し、様々な作品の工夫を見付けようとしている。	
		方法	・ワークシート		・活動の様子 ・ワークシート	
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 追 求 す る 場	○ 発想し構想を練る	A	「明暗」「技法」を意識し、それらの活用の仕方が伝わるように、用具をいかして丁寧にアイデアスケッチを制作している。	主題を基に、「明暗」「技法」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑賞し、「明暗」「技法」についての活用の仕方のよいところを見付けたり、アドバイスを伝えたりしている。	A	主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。 主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、様々なアイデアスケッチや作品の工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。
		B	「明暗」「技法」を意識し、それらの活用の仕方が伝わるようにアイデアスケッチを制作している。	主題を基に、「明暗」「技法」のいずれかを活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑賞し、「明暗」「技法」についての活用の仕方のよいところを見付けている。		
		方法	・ワークシート	・ワークシート		
⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ 追 求 す る 場	○ 本制作をする	A	主題を表すために、「明暗」「技法」を活用して、用具をいかして制作している。	主題を表すために「明暗」「技法」がどのように活用されているかを鑑賞したり振り返ったりし、具体的に記述している。	B	主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、試行錯誤を繰り返して表そうとしている。 主題を表すために「明暗」「技法」を意識し、様々なアイデアスケッチや作品の工夫を見付けようとしている。
		B	主題を表すために、「明暗」「技法」のいずれかを活用して、用具をいかして制作している。	主題を表すために「明暗」「技法」がどのように活用されているかを鑑賞したり振り返ったりし、記述している。		
		方法	・作品 ・ワークシート	・ワークシート	方法 ・活動の様子 ・ワークシート	
⑯ ⑰ ふ り か え る 場	○ 最終鑑賞会を行う	A	主題を表すために「明暗」「技法」を活用することの効果を理解し、記述している。	自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「明暗」「技法」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。	「明暗」「技法」を意識し、様々な作品の工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。 「明暗」「技法」を意識し、様々な作品の工夫を見付けようとしている。	
		B	主題を表すために「明暗」「技法」のいずれかを活用することの効果を理解し、記述している。	自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「明暗」「技法」の活用の仕方を見付け、文章で記述している。		
		方法	・ワークシート	・ワークシート		・活動の様子 ・ワークシート

2年	デザイン 彫刻	題材名	FUZOKU 公園をデザインしよう ～造形美と機能性の調和～	17時間
----	------------	-----	-----------------------------------	------

1 指導目標【知 知識・技能 思 思考・判断・表現 態 主体的に学習に取り組む態度】

知	主題を表すために「形」「配色」を活用することの効果を理解し、記述している。 主題を表すために「形」「配色」を活用して、材料や用具をいかして制作している。
思	主題を基に、「形」「配色」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。
態	主題を表すために「形」「配色」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。 主題を表すために「形」「配色」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。

2 題材を通して意識させたい基礎的な知識・技能「工夫ポイント」

「形」「配色」

3 題材の指導計画（17時間完了）

場	時	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ場	①	題材をつかむ 「形」を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本題材が、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校の3附属で生活する子どもたちが、公園で遊ぶことでどのように成長できるかというコンセプトを基に主題を設定し、公園をデザインして模型で表現する題材であることを伝える。 ○ 構成美の要素を含み、造形美や機能性を意識して考えられた様々な物の形を鑑賞させ、それぞれの形から与えられる印象や効果に気付かせる。 ○ 対象年齢を考え、造形美を重視したイスと、機能性を重視したイスの形を描かせることで、造形美と機能性を意識した形を学ばせる。
	②	「配色」を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成美の要素を含み、造形美や機能性を意識して考えられた様々な物の色を鑑賞させ、それぞれの色から与えられる印象や効果に気付かせる。 ○ 前時に描いた、造形美を重視したイスと、機能性を重視したイスの色を塗らせることで、造形美と機能性を意識した色を学ばせる。
	③	主題を生み出す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4名のグループで相談し、自分たちの生活や、隣接する小学校や幼稚園の生活に思いを巡らし、対象とする年齢層とどのように成長して欲しいかという思いを基に、生み出させた主題をワークシートに記述させる。
追求する場	④	発想する 【拡散的思考】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生み出した主題を基に、グループの中で公園に必要な遊具、モニュメント、ベンチなどの分担を決めさせ、「形」「配色」を活用させながら、アイデアスケッチを発想させる。
	⑤		<ul style="list-style-type: none"> ○ 発想の途中で参考作品などを示し、「形」「配色」の活用の仕方に気付かせた上で、活用の仕方を変えて複数のアイデアを考えることができているかを問い掛けることで、新たなアイデアスケッチを発想することができるようにさせていく（「拡M①」）。 ○ 主題を表すために「形」「配色」がどのように活用されているかを確認させる。

	⑥ 中間鑑賞会 1 【拡散的思考】	<p>るかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「拡M①」）。</p> <p>○ 発想されたアイデアスケッチを基に、クラス全体のアイデアスケッチを鑑賞させる、中間鑑賞会（第1回）を行う。主題が「形」「配色」を活用して表現されているかに着目させ、自分がよいと思うところをワークシートに記述する活動を行わせることで、参考になりそうなアイデアを見付けさせていく（「拡M②」）。</p>
	⑦ 中間鑑賞会 2 【拡散的思考】 構想する 【収束的思考】	<p>○ 発想されたアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる、中間鑑賞会（第2回）を行う。主題が「形」「配色」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、ワークシートに記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。</p> <p>○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの構想を練ることができるようさせていく（「収M①」）。</p>
	⑧	○ 決定したアイデアスケッチに、主題を表すためにどのように「形」「機能」が活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「収M①」）。
	⑨ 本制作をする ⑩ 【収束的思考】 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	<p>○ 主題を表すために材料や用具をいかして作品を制作させる。</p> <p>○ 表現を振り返りながら見通しをもちやすくするために、小グループの隊形で制作をさせ、いつでも互いの作品の鑑賞や、意見交換をできるようにさせる。</p> <p>○ 本制作の作品に、主題を表すために「形」「配色」をどのように活用しているかをワークシートに記述させ、それを振り返りながら見通しをもたせていく（「収M②」）。</p> <p>○ 制作途中に友達の作品の鑑賞を促し、主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方や、材料や用具のいかし方などを見付けさせ、それを基に表現を振り返りながら見通しをもって表現させていく（「収M②」）。</p>
ふりかえる場	⑯ 最終鑑賞会を行う ⑰	<p>○ 本制作をして完成した作品について発表させ、自他の作品を鑑賞させる最終鑑賞会を行い、主題を表すために「形」「配色」を活用していくことがどのように効果的だったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</p> <p>○ 題材全体を振り返らせ、主題を追求していくにあたって、アイデアスケッチを複数発想したり、中間鑑賞会での意見交換を参考に構想を練ったり、主題を表すために「形」「配色」がどのように活用されているかを振り返りながら本制作をしたことが、主題を実現することにつながったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</p>

4 評価基準表

時 場	主な学習の活動	評 価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
① ② ③ つか か む 場	○ 「形」「配 色」を学ぶ ○ 主題を生み 出す	A	「形」「配色」の効 果を理解し、具体的に 記述している。	/	「形」「配色」を意識し、 試行錯誤を繰り返して、表現 を振り返りながら見直しをも って表そうとしている。	
		B	「形」「配色」の効 果を理解し、記述して いる。		「形」「配色」を意識し、 試行錯誤を繰り返して表そう としている。	
		方 法	・ワークシート		・活動の様子 ・ワークシート	
④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 追 求 す る 場	○ 発想し構想 を練る	A	「形」「配色」を意 識し、それらの活用の 仕方が伝わるように、 用具をいかして丁寧に アイデアスケッチを制 作している。	主題を基に、「形」「配色」を 活用して、アイデアを発想し構想 を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑賞 し、「形」「配色」についての活 用の仕方のよいところを見付け たり、アドバイスを伝えたりして いる。	A	主題を表すために「形」 「配色」を意識し、試行 錯誤を繰り返して、表現 を振り返りながら見直し をもって表そうとしてい る。 主題を表すために「形」 「配色」を意識し、様々 なアイデアスケッチや作 品の工夫を見付け、感じ 取ったことを基に表現を 振り返ろうとしている。
		B	「形」「配色」を意 識し、それらの活用の 仕方が伝わるようにア イデアスケッチを制作 している。	主題を基に、「形」「配色」の いずれかを活用して、アイデアを 発想し構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑賞 し、「形」「配色」についての活 用の仕方のよいところを見付け ている。	B	主題を表すために「形」 「配色」を意識し、試行 錯誤を繰り返して表そう としている。 主題を表すために「形」 「配色」を意識し、様々 なアイデアスケッチや作 品の工夫を見付けよう としている。
		方 法	・ワークシート	・ワークシート	方 法	・活動の様子 ・ワークシート
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ 追 求 す る 場	○ 本制作をす る	A	主題を表すために、 「形」「配色」を活用 して、材料や用具をい かして制作している。	主題を表すために「形」「配色」 がどのように活用されているかを 鑑賞したり振り返ったりし、具体 的に記述している。	B	主題を表すために「形」 「配色」を意識し、試行 錯誤を繰り返して表そう としている。 主題を表すために「形」 「配色」を意識し、様々 なアイデアスケッチや作 品の工夫を見付けよう としている。
		B	主題を表すために、 「形」「配色」のいず れかを活用して、材料 や用具をいかして制作 している。	主題を表すために「形」「配色」 がどのように活用されているかを 鑑賞したり振り返ったりし、記述 している。	B	主題を表すために「形」 「配色」を意識し、試行 錯誤を繰り返して表そう としている。 主題を表すために「形」 「配色」を意識し、様々 なアイデアスケッチや作 品の工夫を見付けよう としている。
		方 法	・作品 ・ワークシート	・ワークシート	方 法	・活動の様子 ・ワークシート
⑯ ⑰ ふ り か え る 場	○ 最終鑑賞会 を行う	A	主題を表すために 「形」「配色」を活用 することの効果を理解 し、記述している。	自他の作品を鑑賞し、主題を表 すための「形」「配色」の活用の 仕方を見付け、具体的な文章で記 述している。	「形」「配色」を意識し、 様々な作品の工夫を見付け、 感じ取ったことを基に表現を 振り返ろうとしている。	
		B	主題を表すために 「形」「配色」のいず れかを活用することの 効果を理解し、記述し ている。	自他の作品を鑑賞し、主題を表 すための「形」「配色」の活用の 仕方を見付け、文章で記述してい る。	「形」「配色」を意識し、 様々な作品の工夫を見付けよ うとしている。	
		方 法	・ワークシート	・ワークシート	方 法	・活動の様子 ・ワークシート